



## 講師派遣ご利用企業の声

# スターバックス コーヒー ジャパン株式会社

**Q** 日科技連の研修を利用されたきっかけをお聞かせください。

当社ではこれまで品質管理の体系的な研修を実施したことがありませんでした。しかし業務を遂行する中で、品質管理の手法が必要ではないかと思われる場面時々遭遇します。例えば問題に対する原因の把握や、テストを行う際の適正なサンプル数の計算、テスト結果をどの様に判断したらいいか等です。きちんと研修を実施したいと思ったことがきっかけです。品質管理教育と言えば日科技連さんが真っ先に思い浮かびました。

**Q** 講師派遣型セミナーを実施してみて、受講生の皆様の反応はいかがだったでしょうか。

研修を受講したメンバーの反応は非常に良かったです。講師の話がとても分かりやすく、専門的な内容を易しく説明していただいたのが本当に助かりました。今まで全く品質管理に触れたことのないメンバーにとっては、若干消化不良だった者がいましたので、フォローアップしていきたいと考えています。

**Q** 研修で学んだ内容は貴社の業務に活用出来そうですか。

これまで、何か問題が発生した際、経験則に基づいたアプローチを取っていました。例えば、恐らくこれが問題だろうから、まずはこれを直してみようと対策を講じるわけです。しかし問題が解決できない。じゃあ次はこっちじゃないかとやっていたため、非効率でした。そういった非効率なアプローチが今後はなくなると期待しています。問題解決に向けたアプローチを改善する機会を研修で得たと考えています。最初に考えられる要因を洗い出す作業において、様々な視点が抜け落ちた状態で実施していたことが多かったと気付かされました。

声をお聞かせ頂いた方のご紹介



サプライチェーン本部  
品質保証部  
シニアアドバイザー  
中野 晋 様



サプライチェーン本部  
品質保証部  
部長 村上 恵 様

**Q** 人材育成の課題をお聞かせください。

実験計画法や抜取検査といった教育も構想にあります。専門的な知識や、より教育にける時間が必要となります。まずは今回学んだことを業務に活用してみて、新たな課題が見えてきた段階で取り組みたいと思います。

**Q** 村上様はQC検定2級を取得されていますが、QC検定で得た知識が業務で役に立っている点があればお聞かせください。

品質管理の手法を学ぶことで、データに対する感覚が磨かれると共に、業務へ手法を活用する機会が増えると思っています。また他社や取引先様のご担当者とお話するときに、同じ品質管理の言葉で会話ができるようになる点も、QC検定によって得た知識が業務に役立っていると感じる点です。

私達は製造現場を持っていませんが、製造現場の方とお話をしていく中で、品質管理を知っていることがやはり自信に繋がるとしています。品質管理に対する厳しさは大切と考えておりますので、研修もその様な視点で捉えています。

ご回答いただきありがとうございます。

## スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

[所在地] 東京都品川区上大崎二丁目 25 番 2 号  
新目黒東急ビル

[設立] 1995 年 10 月 26 日 [資本金] 254 億 6181 万円

[従業員] 5,505 名

[店舗数] 1,986 店舗 (うちライセンス店舗 175 店舗)

[事業内容] コーヒースタアの経営/コーヒー及び関連商品の販売

<https://www.starbucks.co.jp/company/summary/?nid=ft>

